

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援らじわん					公表日	令和8年2月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		発達支援室がいくつかあるので、お子様の特徴等によって、主に過ごす部屋を変更しながら、安心して楽しく、そして飽きないように配慮しています。	継続していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		現時点では、必要な職員数は満たしております。	利用されるお子様の傾向を見ながら、増減を調整していきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	各部屋ごとに特徴をわかるようにしているので、お子様にも比較的わかりやすいのではと感じております。	一軒家を利用していますので、ところどころ段差があるため、安全への配慮は常に心がけております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		新型コロナやインフルエンザ、ノロウイルスなど、様々な感染症が年中間かかれるのが現状です。毎日の清掃・消毒を、職員一丸となって対策の徹底を図っております。	継続していきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		パニックや体調不良等の状況に応じて、個別に使用できる部屋を用意し、都度対応しております。	継続していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		定期または不定期にミーティングを行っております。参加できなかった職員には、後に口頭および情報共有ノート等で伝達するようにしています。	継続していきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		アンケートを実施し、解決しやすい部分から対応しております。	継続していきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期および不定期のミーティングを実施し、解決しやすい部分から対応しております。	継続していきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現時点で第三者委員会は設置しておりません。	今後、情勢等を踏まえながら、対応を検討していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		様々な内部研修および外部研修を実施しております。	継続していきます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		お子様の発達段階等をアセスメントしながら、必要な支援プログラムを提供しております。	HPIに掲載されている支援プログラムを元に、子どもたちの特性、成長に合わせて内容を工夫していきます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		お子様全員に対してアセスメントを実施したうえで個別支援計画を作成しております。	継続していきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		初回の計画は、児発管が中心となっておりますが、2回目以降は全職員の意見を集約したうえで計画を作成しております。	継続していきます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画書の内容は職員間で共有し、計画に沿った支援に取り組んでおります。	継続していきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		フォーマル・インフォーマル双方のツールを使用するようにしております。	継続していきます。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		各支援を考慮した計画書となるように心がけております。	「ガイドライン」の方針や内容を理解し、具体的支援の方法等に落とし込み、個別計画書に取り入れています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	チームで検討したり、個別で立案したプログラムを実施してみた上で、職員間で共有したりするようにしています。	時短勤務の職員さんの意見もより吸い上げることができるよう、取り組んでいます。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		お子様達はいろいろな成長を見せてくれますので、状況に合わせて活動を変化していくよう心がけています。	成長の様子を確認しつつ、バランスを考えながらプログラムを構成をしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、計画に反映するよう心がけております。	継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎朝のミーティングにて確認しております。	継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		夕方も、その日の振り返り等を実施しております。	継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		記録を徹底し、見直し等を行っております。	記録の漏れがないよう、さらに配慮していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングを欠かさず行っており、発達状況に合わせて少しずつ変更しております。	継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		開催日時によっては参加が難しい時もありますが、参加可能な際には、児発管・機能訓練担当者・看護師等が参加するようにしています。	継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3	必要に応じて連携していくようにしておりますが、完璧は難しいと感じています。	可能な範囲で継続していきたいと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		面談時や担当相談員との情報交換の際、園や小学校入学を想定した支援に取り組むようにしています。また、可能な限り、電話・書面・直接お話し等の方法で、情報共有を行うようにしています。	可能な範囲で継続していきたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3	入学予定の全てのお子様に対しては実施できておりません。可能な範囲で、電話・書面・直接お話し・オンライン等の方法で、情報共有を行うようにしています。	可能な範囲で継続していきたいと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		8	必要に応じて情報共有等は行っていますが、スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けられておりません。	スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けていければと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8	医療的ケアの必要なお子様が多く、処置等に時間を要したり、感染症対策の観点から、なかなか外に出ていくことが難しいと感じています。	今年度は、地域の施設を利用しました。様々なハードルを感じておりますが、継続していきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳・送迎時の会話・電話等で、こまめにお話するようにしております。	継続していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	情報提供等は行っておりますが、研修やしっかりとしたペアレント・トレーニング等は不十分と感じています。	共働きのご家族の場合、なかなか難しさを感じますので、状況を見ながら対応してまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		事前の見学、契約時等で説明をさせて頂いております。	継続していきます。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談時やアンケート等を利用し、意向を確認する機会も設けております。	共働きのご家族の場合、なかなか難しさを感じますので、状況を見ながら対応していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		作成した個別支援計画の原案や、確定した個別支援計画等は、必ず示しながら説明し、同意を得るようにしております。	継続していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		面談のみならず、アンケートや連絡帳等でも悩み等の相談を受け、助言等の支援を行っております。	共働きのご家族の場合、なかなか難しさを感じますので、状況を見ながら対応していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		父母の会等は、なかなか開催に前向きな意見が聞かれなかったり、駐車スペースに限りがあったりするため、実施には至っておりません。きょうだい同士での交流の機会についても同様です。	要望がありましたら検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		契約時に相談等に対する体制を説明するとともに、都度気軽にお話しして頂けるよう、声かけを行っています。	継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		HPやSNS等は、個人情報流出等、運営側の抵抗感があるため、最低限の活用となっております。予定や報告の写真等は、都度お知らせするようにしています。	継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		情報が拡散されないよう、留意しております。	継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		必要に応じて、書面やカード、音声等を使い分けられるようにしております。	継続していきます。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		班長さんにはお声かけやお知らせを行うことはありますが、医療的ケア児さんが多く、感染症による重症化リスクも高いため、地域に開かれた運営には難しさや怖さがあると感じております。	お子様や保護者様のご要望等がありましたら検討していきたいと思っております。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアル等は策定し、訓練等も実施しております。大まかな内容は契約時等にお伝えしております。	マニュアルは完備していますが、内容が膨大なので、なかなか隅々までの周知は難しいと感じています。いつでも閲覧可能ですので、ご希望があればお声がけいただけたらと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPは作成し、訓練等を実施しております。繰り返して取り組んでいます。	継続して定期的な見直し、訓練を実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		基本的には、初回面談の際に確認しております。また、お薬の変更等もよくありますので、都度確認するようにしております。	継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		食物アレルギーについて確認はしておりますが、当事業所で食事を作って提供しておりませんので、医師の指示書に基づく対応はしておりません。	継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画は作成しております。必要な項目すべての研修等を実施するのに難しさを感じております。	一つ一つ丁寧に対応していきたいと思っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4	安全計画は作成しております。	職員間でも意見が分かれるところです。わかりやすく周知できるよう対応をしていきたいと思っております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		なぜ生じたのか、繰り返さないためにどうするかなど、全職員で情報を共有し意見交換を継続していきたいと思っております。	継続していきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		委員会や研修等、対応を継続していきます。	継続していきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		委員会や研修等、対応を継続していきますが、実際に身体拘束を想定する機会がないため、計画書等には反映させておりません。	継続していきます。	